

各関係機関長
各病害虫防除員 様

宮崎県病害虫防除所長

平成14年度病害虫発生予察注意報第1号について
平成14年度病害虫発生予察注意報第1号を公表したので送付します。
平成14年度病害虫発生予察注意報第1号

病害虫名 ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ
作物名 ナシ、カキ、モモ等の落葉果樹、カンキツ類

1 発生地域 県下全域

2 発生量 多

3 注意報の根拠

- 1) 4月の県央（佐土原町）の予察灯へのツヤアオカメムシの飛来が過去10年で最も多かった（4月の誘殺数 本年579頭 平年36.1頭 過去10年の最多誘殺数279頭（平成4年））。
- 2) 平成14年2月に県内20地点で行ったチャバネアオカメムシの越冬量調査において、5地点から計7頭の越冬成虫が確認された。
- 3) 過去7年間実施した越冬量調査において越冬成虫が確認された平成8年（26頭）、12年（4頭）には7月までに越冬成虫が多く確認され、一部の果樹園で被害が認められた。

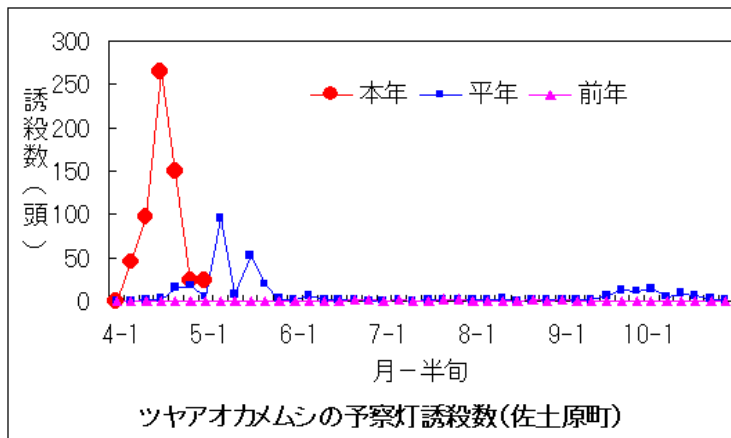


表 チャバネアオカメムシの越冬量調査結果（2月）及び4～7月の予察灯誘殺数

	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年
越冬数（頭）	26	0	0	0	4	0	7
予察灯誘殺数（頭）	延岡	505	0	3	3	271	0
	日南	93	0	0	12	342	47
	都城	77	1	9	0	35	0
	国富	178	0	1	0	14	1
	佐土原	213	2	5	11	88	6
	合計	1065	3	17	26	732	54

4 防除上の注意

- 1) カメムシは園外から飛来し、地域や時期によって発生量が大きく変動する。多飛来を見てからの防除では手遅れとなるので、園内外を見回り、早期発見、早期防除に努める。

- 2) 成熟・着色の早い品種を集中して加害する傾向があるので注意する。
- 3) 園周辺にヒノキ・スギの多いところでは特に注意が必要で、薬剤防除はヒノキ・スギを含めた防除とする。
- 4) 薬剤等その他の詳細については、「平成14年度病害虫・雑草防除等指導指針」を参照する。また、農薬安全使用基準を遵守し、危被害防止に努める。